

TOTO

ウォシュレット® 一体形便器(リモデル)


◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。



1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。	 必ず実行	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
---	----------------------------------	---	---------------------------------------

注意	
 禁止	<p>便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 水が噴き出します。</p>
 必ず実行	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p> <p>設置工事は、この説明書に従って確実にを行う 故障や水漏れの原因になります。</p>

2 部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名称	個数	略図	備考
便器	1個		質量：30kg
排水ソケット本体 (ゴムジョイント付き)	1個		
アダプター (VU75, VP100, VU100用)	3個		
固定金具	六角ボルト	2本	
	止め金具	2個	
	ナット	2個	
	ワッシャー (排水ソケット用)	2枚	
固定片	木ねじ (排水ソケット用)	5本	 十字穴付きタッピンねじ トラス 4種 φ6×40
	固定片	1個	
	接着ブロック	1個	
	木ねじ	2本	 十字穴付きタッピンねじ トラス 4種 φ6×40
施工説明書	1部	本紙	
位置決めシート	1枚		
化粧キャップ	2個		
接続水部	止水栓 (パッキン付き)	1個	
	給水ホース	1本	 組み立て済み
パネル	すっきりパネル (左)	1枚	 面ファスナー付き
	すっきりパネル (右)	1枚	
開閉工具	1個		組み立て済み

※開閉工具は必ずお客様にお渡しください。

3 取り付け前のご注意

■ 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

※室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。

(壁が変色する原因になります)

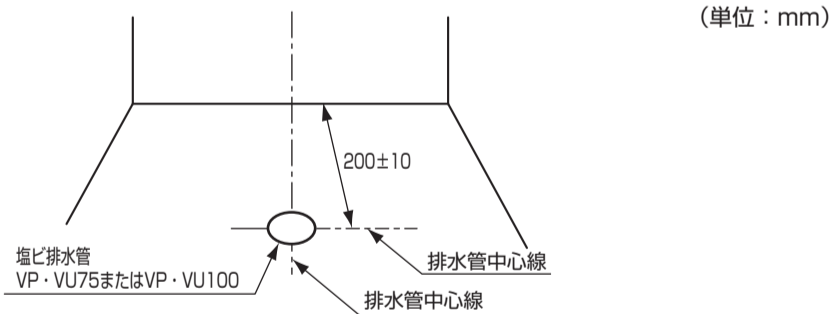
※Aタイプについて、窓枠、棚、収納キャビネットなどと便ふたの干渉にご注意ください。

便ふたが当たって開ききらないことがあります。

(棚、収納キャビネットは下端FL+1200mm以上を目安としてください)

■ 止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

■ 施工前に、排水管位置(下図参照)および給水管取り出し位置が所定の位置にあることを確認してください。



※排水管は樹脂管専用。また既設便器の接続が床下接着の場合、排水管の立ち上げ直しが必要となりますのでご注意ください。

■ 設置前に水圧を測定ください。

最低必要水圧：0.07MPa (20L/min流動時) が必要です。この水圧を確保できないと汚物を排出しないことがありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。

注1：洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。

注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。(上記水圧と流量の確保のため)

〈バケツによる簡易測定方法〉

〔測定要領〕



10秒間水を入れて水量を計る

補助バケツを用意してください

〈水圧測定専用治具による測定方法〉

HH15003(希望小売価格 ¥5,400(税抜))を利用する。(HH15003に止水栓は含まれておりません)

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

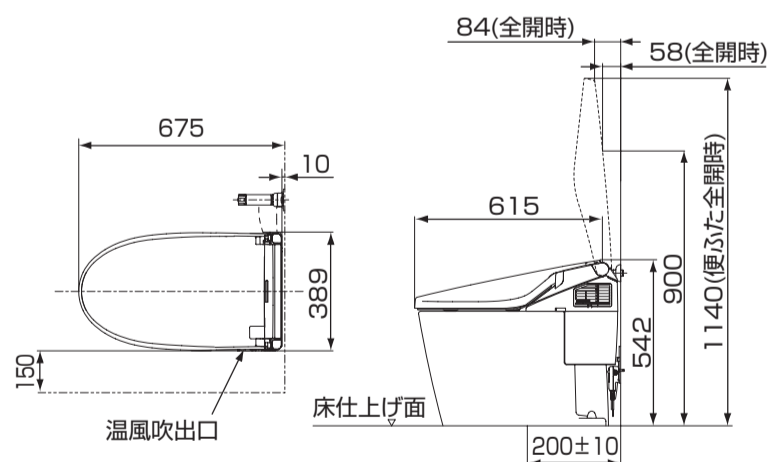


止水栓のタイプ	水量(10秒間)
本商品同梱の止水栓	5.5L以上
ロータンク用止水栓 (壁給水)	4.5L以上
ロータンク用止水栓 (床給水)	4.0L以上

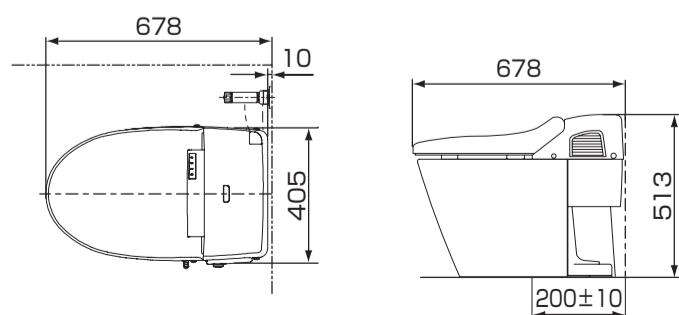
商品セット図

施工完了図 (Aタイプの場合)

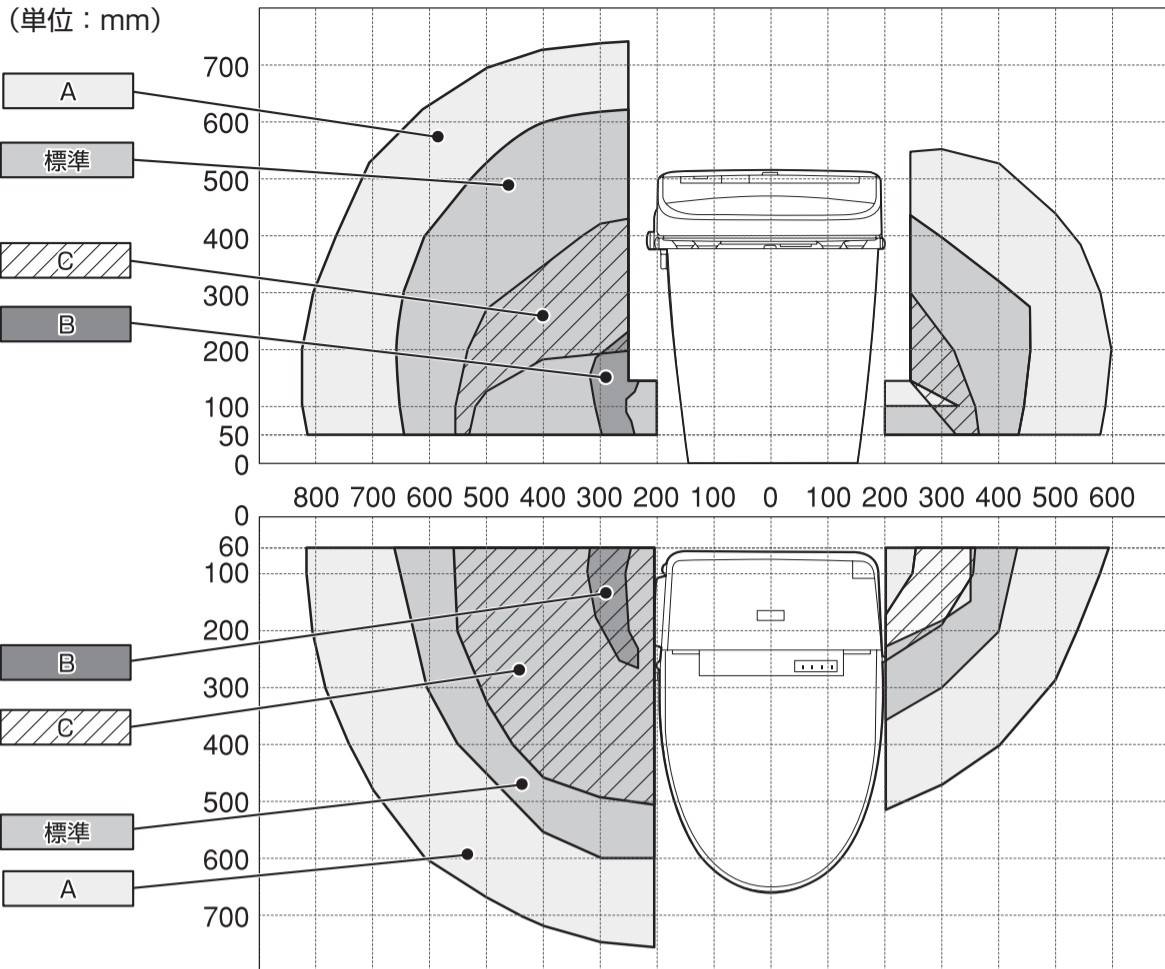
(単位：mm)



施工完了図 (Dタイプの場合)



4 給水位置の確認



注意

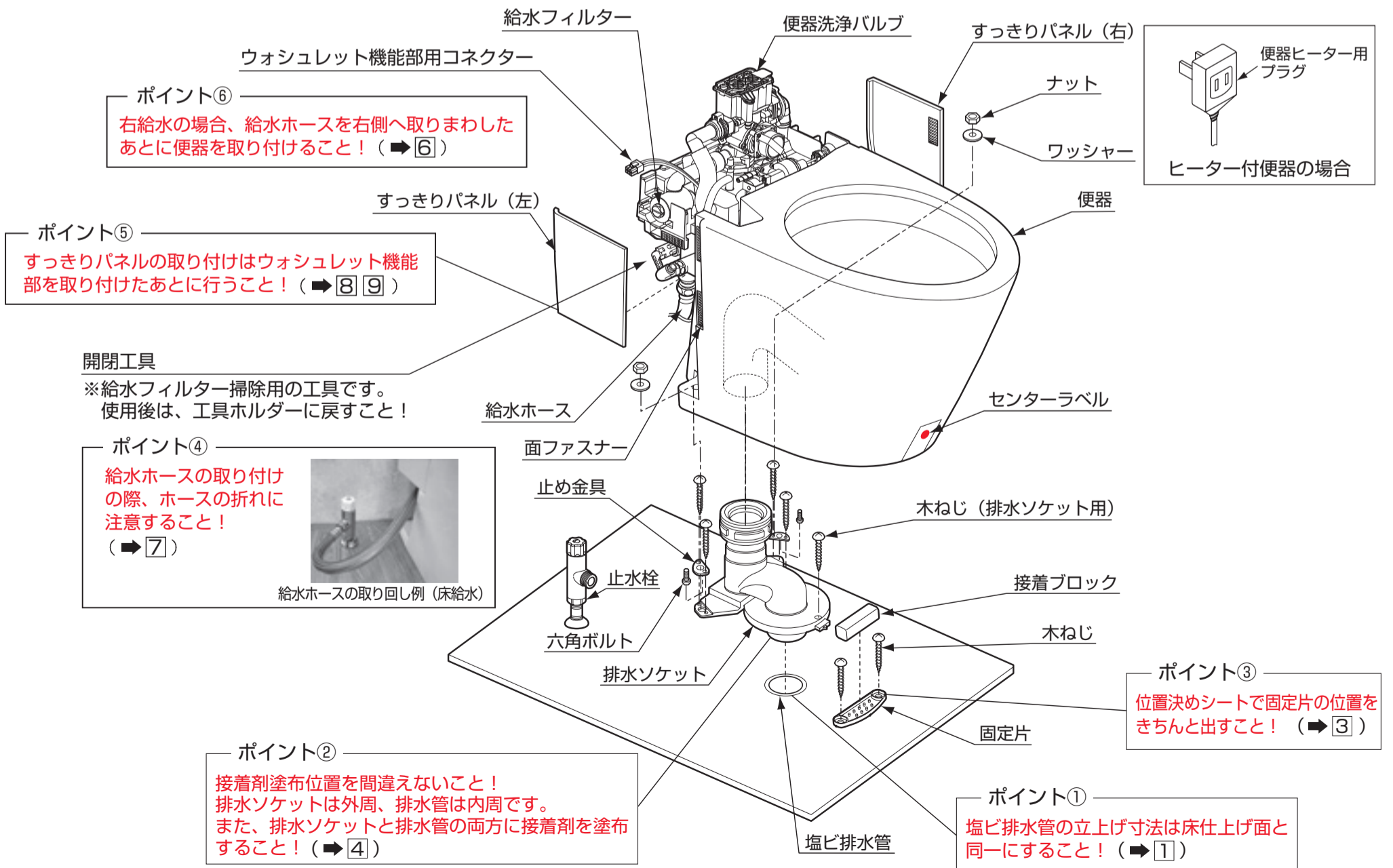
必ず実行 ヒーター付き便器、水抜併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける
水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

- 給水ホースオプション (TN111L551、TN111L24) を使うと、給水ホースがきれいに納まります。
- リモデル対応品の標準ホースは、左給水のみに対応です。右給水の場合や給水ホースの過不足がある場合、長さ違いの給水ホースをご購入ください。

給水位置	大便器用給水ホース品番		備考
標準	同梱の給水ホースをご使用ください。	L型 550mm	同梱ホースで左側範囲はすべて対応可能です。
A	TN111L70R	L型 700mm	右側範囲はすべて対応可能です。
B	TN111L24	S型 245mm	B範囲での最適長さのホースです。
C	TN111L551	S型 550mm	C範囲での最適長さのホースです。

※寒冷地（水抜方式）の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルと干渉しない位置に立ち上げてください。

5 各部の名称と施工のポイント



6 便器施工要領

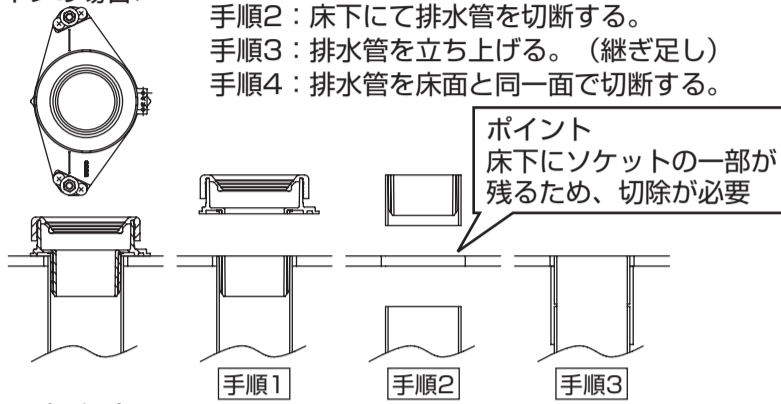
1 既設器具の取り外し

- ①既設の便器および排水ソケットは取り除く。
※排水ソケットの取り外し要領を確認ください。
- ②排水管切断面のバリ・汚れは必ず除去する。
- ③排水管センターを出して、床面に便器中心線をけがく。

※排水ソケットの取り外し要領

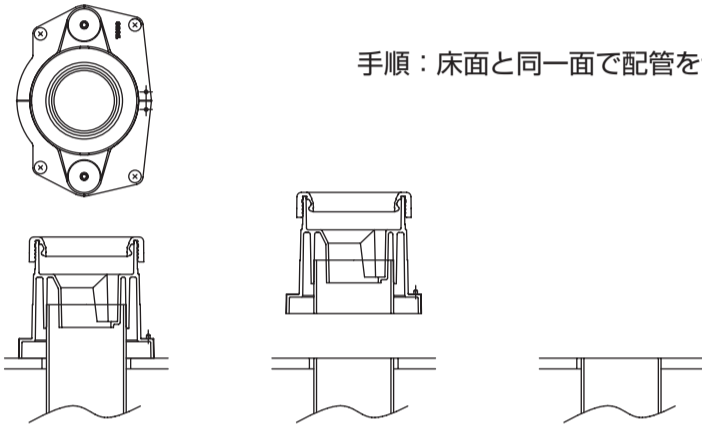
<床下接着タイプの場合>

- 手順1：床面で配管を切断する。
- 手順2：床下にて排水管を切断する。
- 手順3：排水管を立ち上げる。(継ぎ足し)
- 手順4：排水管を床面と同一面で切断する。



<床上接着タイプの場合>

手順：床面と同一面で配管を切断する。

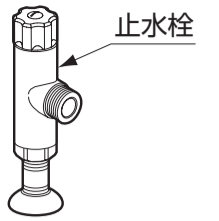


注意

排水管の床仕上げ面からの飛び出しは2mm以下にする
排水管が床仕上げ面より飛び出ると、ソケットが突き上げられ固定が不十分になり、水漏れのおそれがあります。

2 止水栓の取り付け

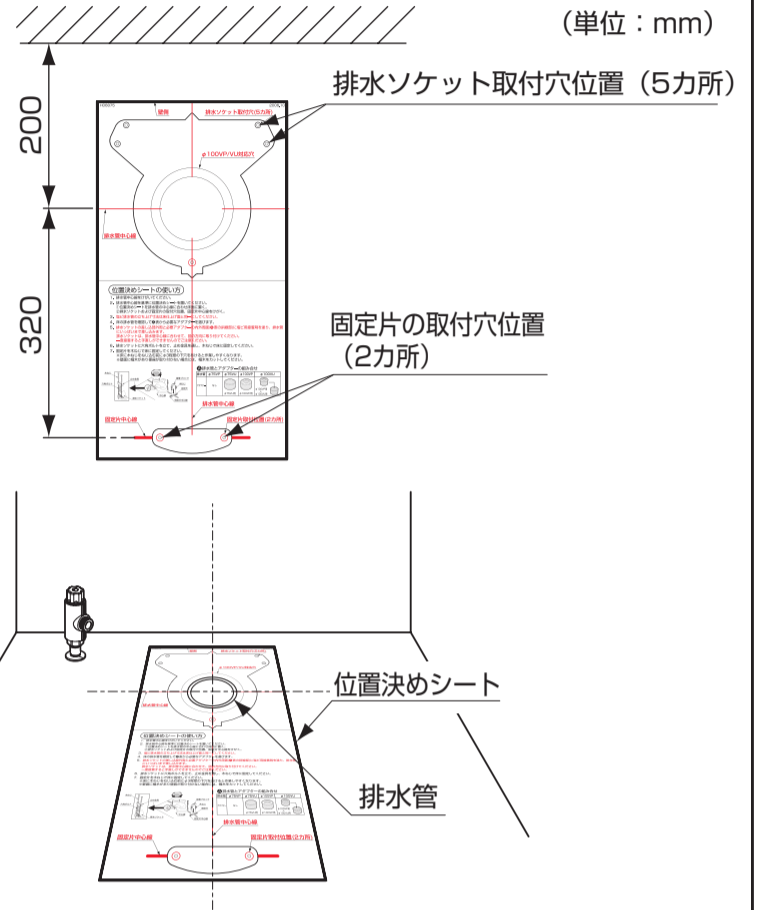
■既設の止水栓を取り外し、同梱の止水栓を取り付ける。



※取り出し管のねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

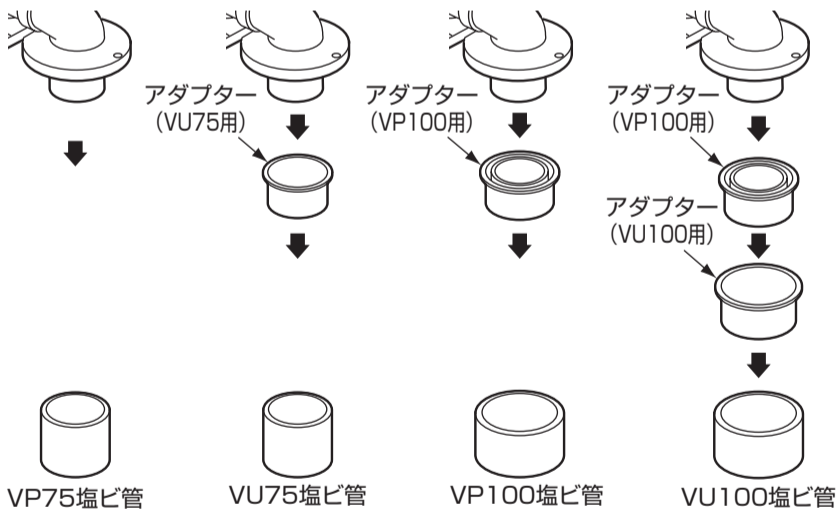
3 位置決めシートの使い方

- ①位置決めシートを排水管の中心線にあわせ床面に置く。
- ②排水ソケットおよび固定片の取付穴位置、固定片中心線をけがく。



4 排水ソケットの接着

- ①排水管がVP75以外の場合は、アダプターを塩ビ用接着剤で排水ソケットの接続部に接着する。
- ②排水ソケットと排水管の接続部に塩ビ用接着剤を塗り、排水管に押し込む。

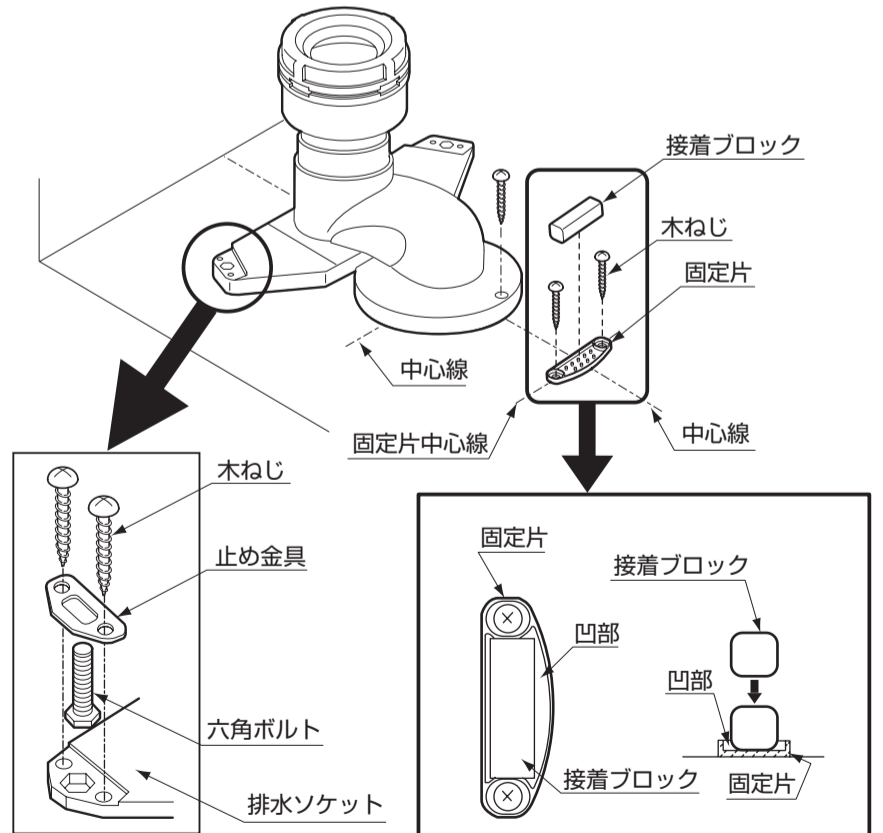


注意

- ・排水ソケットとアダプターは塩ビ用接着剤で接着のこと
- ・接着剤の塗布面は汚れを取り除き、排水ソケットとアダプターの両方に接着剤を塗布すること
- ・排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去する
- ・一度接着すると、手直しができませんので注意する
- ・排水ソケットと排水管のはめあいがゆるい場合は、必ず『高粘度タイプの接着剤』(HH05062)を使用する
- ・接着剤は、排水ソケットと排水管の両方に塗布する

5 固定片・排水ソケットの取り付け

- ①7カ所の取付穴位置にφ3の下穴をあける。
- ②排水ソケット後固定部は所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通してうで、木ねじで床に固定する。
- ③排水ソケット前側を、木ねじで床に固定する。
- ④固定片を中心線にあわせて、木ねじで床に固定する。
- ⑤固定片の凹部に接着ブロックをセットする。



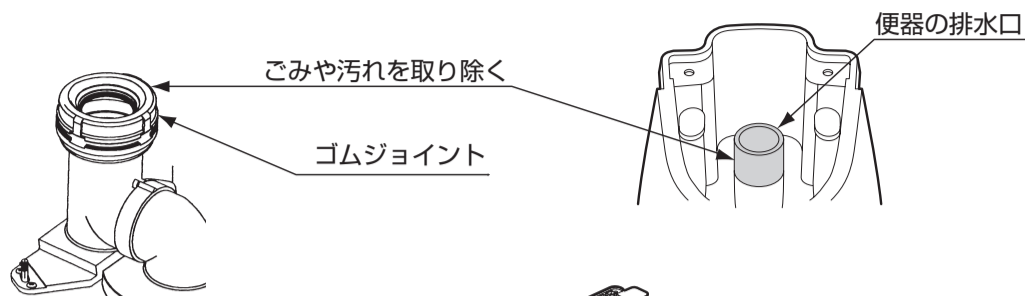
・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあるので、このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する

注意

排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む
確実にめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

6 便器の取り付け

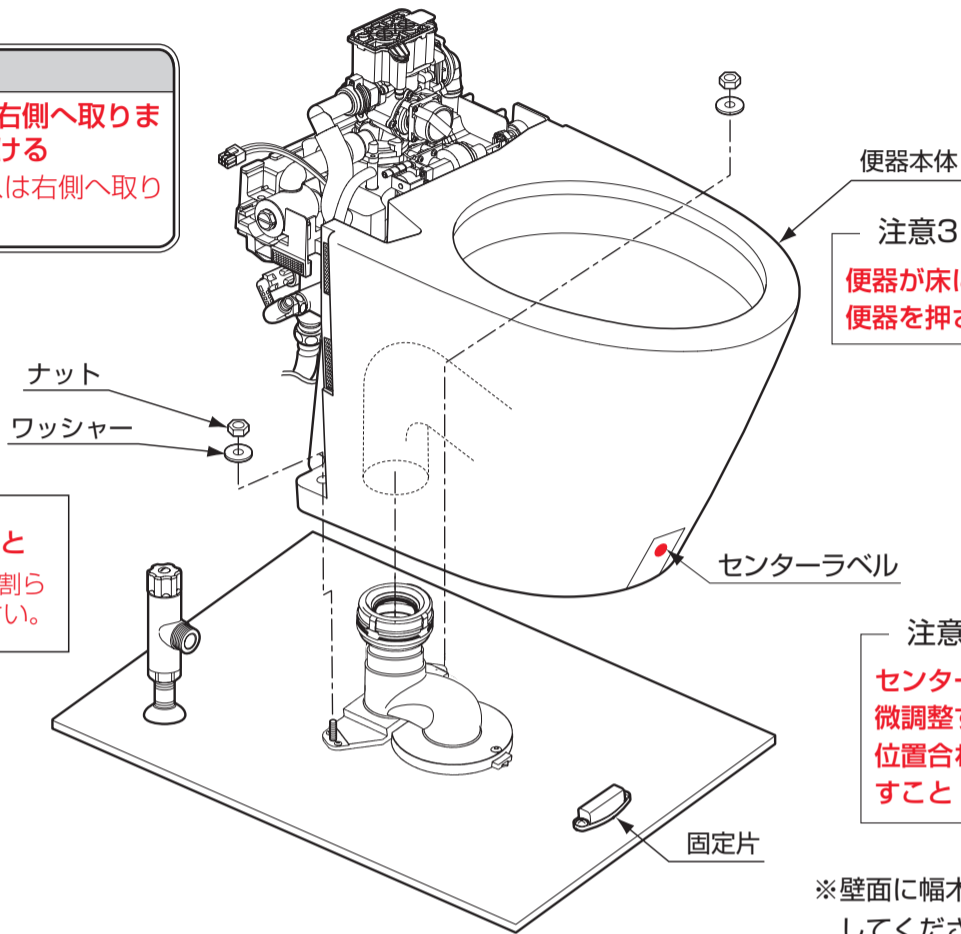
- ①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き排水口を排水ソケットに差し込む。
- ②センターラベルを基準に便器の位置を微調整し、センターラベルをはがしたあとに、便器が床につくまで、しっかり便器を押さえる。
- ③便器後側の取付穴（2カ所）を、ワッシャー・ナットで排水ソケットに固定し化粧キャップを取り付ける。



注意

必ず実行

右給水の場合給水ホースを右側へ取りまわしたあとに便器を取り付ける
便器セット後に、給水ホースは右側へ取りまわすことができません。



注意1

ナットを確実に締めること
ナットを締めすぎて便器を割らないように注意してください。

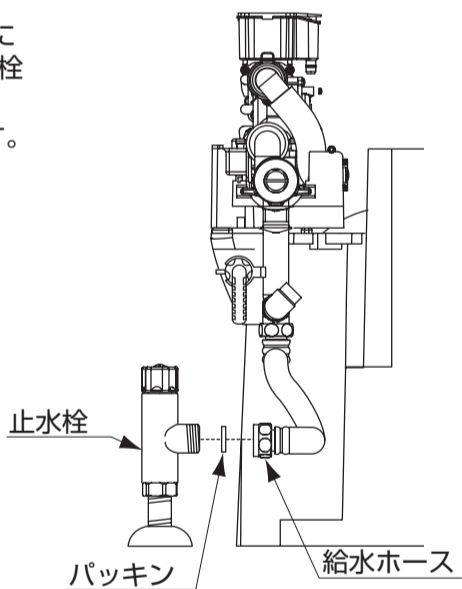
注意2

センターラベルを基準に便器の位置を微調整すること
位置合わせ後、センターラベルをはがすこと

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

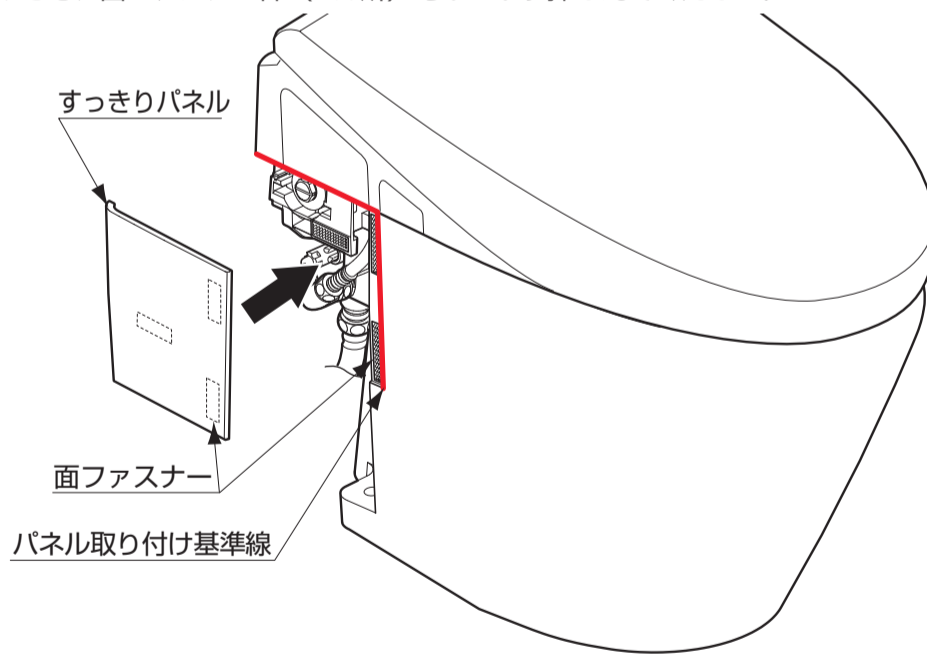
7 給水ホースの取り付け

- 給水ホースの袋ナットにパッキン*を入れて止水栓に固定する。
- ※止水栓に同梱しています。



9 すっきりパネルの取り付け

- ウォシュレット機能部の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線（赤線）にあわせて取り付ける。
- ※このとき、面ファスナー部（3カ所）をしっかり押さえてください。



8 ウォシュレット機能部の取り付け・試運転

- ウォシュレット機能部同梱の施工説明書を参照のこと。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

- トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。

